

ふるさと講座・自然系第2回目のお知らせ！ 「初冬の野鳥観察会」 ユキホオジロを観察しよう！

この時期見られる「ユキホオジロ」を中心とした観察会を行います。観察先は、野付半島の先端で、最後の番屋から徒歩で先端を目指します。半島先端から見える根室半島から知床半島の風景を見ることが出来ますので、ぜひ、ご参加ください。



昨年の観察会の様子

- 日時 平成26年12月7日（日）午前10時～12時
- 場所 野付半島（集合は野付半島ネイチャーセンター2階）
- 講師 根室立啓雲中学校 教頭 藤井 薫 氏
- 申込等 11月28日（金）までに、電話・FAX・メールのいずれかでお名前と電話番号をお知らせください。定員15名
- その他 防寒着・長靴を着用ください。図鑑・双眼鏡をお持ちの方は持参ください。当館でも若干貸出します。

北海道博物館リニューアル予告展示会 関連講座を開催しました。

10月12日（日）に本予告展示会開催に伴い、郷土資料館にて子供向け、大人向けの講座を実施しました。

子供向けの講座は、「よく見てみよう！アイヌ文様」北海道開拓記念館 出利葉浩司さんより、普段近くで見ることの出来ないアイヌ民族の衣服をじっくり観察し、ふれたりすることにより、その制作方法を学んだりすることができました。

大人向けの講座は、「アイヌ語と口承文芸の世界—北海道東部を中心に—」北海道立アイヌ民族文化研究センター田村雅史さんより、アイヌ語方言や口承文芸についての説明があり、当館所蔵資料の加賀家文書の中に残されている口承文芸についてのお話がありました。

両講座とも参加者からの質問が多くあり、アイヌ民族について、理解を深めることが出来た講座となりました。



ふるさと講座・歴史系第3回目

「**擦文・アイヌ時代～オンネニクルの森を歩こう・野付1.2遺跡**」を開催しました。

11月19日（日）参加者は、18名でした。はじめに野付半島ネイチャーセンターで、野付半島やオンネニクルの森についてのレクチャーを行いました。その後ナラワラ付近まで車で移動しました。

ナラワラの枯木の真下を歩き、遠くから眺める風景とは違う迫力のある景観に参加者一同目を奪われました。森の中では、アイヌ文化期のイドチ岬チャシ跡、擦文文化期の竪穴住居などを見学しながら、森をあるきました。古代の人々の生活の思いをはせました。ゆっくり、のんびりと森林浴を楽しみながらの秋の探索でした。



参加者の感想

- ・天気よく大変よい運動になりました。アイヌの住居跡もみれ、ふだんは立入禁止区域の手付かずの自然を満喫でき大変よかったです。ありがとうございました。また、参加したいと思います。
- ・一人では行けない場所に連れてって下さいましてありがとうございました。たて穴住居の説明がとてもおもしろかったです。
- ・あたたかい天気にも恵まれました。先人達も厳しい自然の中でどういう生活をしていたのかなと想いました。解説も十分楽しめました。

シリーズ「近世の別海を探る 野付～その9」

チフカルウシ

文献資料での表記は、「チフカルウシ」「チフエカリウシ」などがあります。松前藩復領時代 文政4年（1821）～安政元年（1854）の文献史料からこの地名が登場します。

野付半島で最も細く外海から内海、またはその逆に船を移動出来る場所と考えられます。



○地名の由来

☆ [チフエカリウシ]・「船 引越 処」



別海町郷土資料館だより No.184

発行日 平成26年11月5日

発行所 別海町郷土資料館
別海町別海宮舞町30番地

電話 0153-75-0802 (FAX 兼)

e-mail kyoudo@betsukai.jp

編集後記

いよいよ雪の降る季節になりました。冬には冬の楽しみがありますが、日が短いのは何とも活動範囲を狭くしてしまいます。12月には冬の観察会を開催します。寒さを知る体験も少なくなり、貴重な体験も出来ますのでぜひ、ご参加ください。 (K.I)